

第4期岐南町地域福祉計画（素案）に対する意見の概要と町の考え方

- ・募集期間 令和6年1月29日から2月27日まで
- ・募集方法 ホームページ及び福祉課窓口ほか
- ・意見提出者 1人
- ・提出意見

番号	ページ	意見の概要	意見に対する町の考え方
1	36・37	<p>ボランティア活動への興味や参加意向 について</p> <p>興味はあるが参加する機会がない？この潜在的な課題を掘り起こし解決すべき。</p> <p>【理由】 20代30代50代に参加意向があっても、日常生活や仕事の制約があり行動を起こせない。 住民（福祉）サービスの一環として、福祉センター等の休日（土日祭日）開館の方策が実施できれば、確実に参加数値は向上し、目標達成に繋がる。福祉法人格としての財務的な自立と独立的な企画運営力が不可欠ではありますが。</p>	<p>ボランティア活動については、本町と社会福祉協議会との連携により、ボランティアセンターやボランティアコーディネーターを設置し、地域ボランティアの育成や活動支援を行ってきております。今回のアンケートにおいては、興味はあるが参加する機会がないと回答した方が多くいるなど、課題が見つかっております。これらの課題を解決していくため、98ページに記載しておりますが、ボランティアセンターの事業として新たな活動者の養成講座を実施するなど、潜在的な課題の解決に向けてボランティア活動への活性化に向けた取組を推進していきます。</p> <p>町に対する意見として承りますが、計画は、原案のままとします。</p>
2	37	<p>活動の輪を広げる について</p> <p>LINE公式ページ開設を周知して、有効利用をさらに進め、DX推進を図るべき。</p> <p>【理由】 世代間により福祉情報等の収集・共有方法は異なるが、高齢者向け広報紙（月刊）はもとより、よりリアルタイムなSNSをツールとして有効利用し、DX推進をサポートすることで住民の福祉サービスの向上に繋がるから。</p>	<p>福祉情報等の収集・共有方法については、アンケートにおいても、今後町の保健・福祉情報等をどのように入手したいかの問いに、50代以下の世代を中心に、SNSで入手したいと回答した方が多く、SNSでの情報発信の重要性について、あらためて認識しているところであります。</p> <p>101ページに記載しておりますが、LINEによる情報提供、SNSの活用促進のためのスマホ教室など、事業の充実を図り、LINE公式ページの周知を行うなど、SNSツールの更なる活用を目指しながら、DXの推進に向けて取り組んでいきます。</p> <p>町に対する意見として承りますが、計画は、原案のままとします。</p>
3	50	<p>社会福祉協議会について</p> <p>社協の活動で知っているもののうち、「分からない」が約半数を占めている。</p> <p>“社協だより”は年に数回発行されてはいるが、周知には至っていない。よって、冊子の中身（コンテンツ）を増やしてより多くの活動事例を発信すべき。</p> <p>【理由】 社協の生活支援活動は多岐に渡り、活発に活動している。故に情報量は豊富であり、これらの情報発信を“チラシ”等で単発的に終わらせることなく、WebやSNSのツールを利用することでコストも期待できるし、拡散できるから。</p>	<p>社会福祉協議会は、地域福祉の推進を支える役割を担っており、重要な存在であると認識しております。活動を含めた社会福祉協議会の認知度の向上につながるよう、社会福祉協議会と一層の連携を図ってまいります。</p> <p>ご意見については、社会福祉協議会とも情報共有しますが、計画は、原案のままとします。</p>

4	62	<p>地域福祉の活性化について</p> <p>自治会の組織運営は言うまでもなく不可欠・重要な存在ですが、近年いわれる住民の“自治会・老人会離れ”が問題視されている。高齢化社会において【地域福祉の活性化】対策は他人事では済ませれない問題です。</p> <p>【理由】</p> <p>地方自治法などによる「自治会参加の自由」とかいう、個人的な選択が優先されている事実もさることながら、やはり人間関係は“希薄”などで済まされません。地域のサロン活動などに参加することにより“人との繋がり”の大切さと自治会の存在の大切さに気付いてくれるからです。やはり住民個々の主体性に委ねる他ありません。</p>	<p>自治会・老人会離れにつきましては、加入率や加入人数の低下が見られ、アンケートやワークショップの中でも地域のつながりの希薄化が伺うことができ、重大な課題であると認識しております。93ページをはじめとして記載しておりますが、町が主動となり、自治会や老人クラブなど地域福祉の中核を担う各種団体への加入促進の取組を進めてまいります。また、地域のサロン活動の促進につながるような支援を行い、地域福祉の活性化につなげ、町民が支えあう地域づくりの推進に向けて施策を進めていきます。</p> <p>町に対する意見として承りますが、計画は、原案のままとします。</p>
---	----	--	--